

やなかわ

YANAGAWA 2011.

No.148

5月15日

今号の内容

- | | | | | |
|-------------------|--------|--------------|---------------|------------------|
| ◆災害に備えましょう | 2~3 | | | |
| ◆事務事業評価の10事業が決定ほか | 4 | | | |
| ◆やすらぎ保険のご案内ほか | 5 | | | |
| ◆市民のひろば(6-7) | ◆俳句(7) | ◆情報わいど(8-10) | ◆もちふみデビュー(11) | ◆人権・同和教育シリーズ(12) |

ばやし にぎやかに舟舞台囃子

恒例の沖端水天宮祭が5月3日から5日まで行われました。水天宮横の掘割に浮かべられた舟舞台「三神丸」では、舟舞台囃子保存会の子どもたちが、太鼓と横笛、三味線で舟舞台囃子を演奏。お祭りの雰囲気盛り上げていました。



◆人権・同和教育シリーズ…No.73

人権作文

いじめをなくすために



浦川 美緒さん

私は、3年生の時に友達から無視されたことがあります。その友達は、私が、「ねえねえ。」と、話しかけたら、まばたきをしてほかの友達の方に行っていました。私は、初めていやな気持ちになりました。それから毎日、「ねえ聞いて。」と言っても無視されました。その時私は、とても悲しかったです。こんな無視は、する人がされる人の悲しい気持ちに、気づかないから起きると思います。私は、悲しい思いをした時には、話を聞いてくれる先生、お父さん、お母さんなどに、相談す

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。今回は、矢留小学校5年生の2人です。

たった一言で



椛島 真弓さん

ばよいとわかりました。「そうなんだ。」とつなづいて聞いてくれました。私は一人ぼっちではないということがわかり、安心しました。そして、周りの人も、見ていただけでなく、「したらだめだよ。」と注意してやらないといけないと思います。なぜなら、注意せず見ているのは、いじめている人と同じだからです。注意してあげると、相手も、いじめがいけないことに気づくと思います。いじめをなくすには、友達を思いやること、相談したり、注意したりすることが大切だと思います。



ある日、近くの席の人がケシゴムを落としました。その時、私が拾うと、「ありがとう。」と言ってくれたので、またしようという気持ちになりました。でも、中には、何も言ってくれない人もいます。そんな時は、(しな)いとよかったと、さみしくなる時もありました。「ありがとう」の一言でうれしい気持ちになるのがふしぎだなあと思いました。

習をしている時、はやぶさを2回続けてとぶことができませんでした。その時、いっしょに練習していた友達が、「あと少し、がんばれ。」と言ってくれました。私は、うれしくなって、もっと練習しようと思いました。「ありがとう」や「がんばれ」などのたった一言が、私を明るくし、がんばろうという気持ちにしてくれます。私は、何かしてもらったりした時の一言が大切だと思いました。相手が気持ちの良くなる言葉を学級にふやしていきたいです。そのために、一言を大切にしていきたいです。

これらの作品は、2人が4年生のときに書いたものです。

【評】浦川さん、椛島さん、二人には、自分が体験したことを生かして、いじめをなくし、人の気持ちを大切にしようとするリーダーに育って欲しいと思います。